

# 臨床研究に関する公開情報

熊本医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、末尾の「 ○問い合わせ先 」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

## ○研究課題名

「 熊本市における救急外来自殺関連行動受診数と地域自殺死亡数との関連： 性別・年代別に見る「ポリウムアプローチ」の効果と限界 」

## ○研究の概要

当院の救急外来では、自殺を試みた方や自傷行為を行った方を、断ることなく積極的に受け入れ、治療を行う体制をとっています。この研究では、過去約 10 年間に当院の救急外来を受診された患者さんのデータと、熊本市全体の自殺に関する統計データを照らし合わせます。そうすることで、当院のような地域の中心的な病院が、多くの患者さんを受け入れて治療することが、結果として熊本市全体の自殺を減らすことにつながっているのかどうかを検証します。

## ○研究の目的

熊本市における自殺の現状と、救急医療の現場での対応がどのように関連しているのかを明らかにすることが目的です。特に、性別や年代ごとにどのような特徴があるのかを詳しく調べることで、将来の地域医療体制の整備や、より効果的な自殺予防対策を作るための基礎データとして役立てます。

## ○研究の方法と内容

当院の電子カルテに保存されている診療記録を使用しますが、個人情報は用いません。過去の診療データから、自殺に関連する行動（過量服薬や自傷行為など）で受診された件数などの統計データを作成します。これと、国（厚生労働省）が公開している熊本市の統計データを突き合わせて分析を行います。※患者さんご自身に新たな検査やアンケートなどをお願いすることはありません。

## ○研究の対象となる患者さん

以下の条件をすべて満たす方が対象となります。

1. 2016年（平成28年）1月1日から2025年（令和7年）9月30日までの間に、当院の救急外来を受診、または救急搬送された方。
2. 受診の理由が、過量服薬、自傷行為などの「自殺関連行動」であった方。
3. 受診時の住所が「熊本市」であった方。

## ○本研究の参加について

この研究は、過去の診療記録のデータのみを用いて行う「観察研究」です。対象となる患者さん一人ひとりから直接同意をいただく代わりに、このように研究内容を公開し、データの使用を拒否できる機会（オプトアウト）を設けています。ご自身のデータが研究に使われることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。お申し出があっても、診療において不利益を被ることは一切ありません。

## ○実施期間

研究対象期間：平成28年1月1日～令和7年9月30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和9年3月31日まで

○研究成果の発表

研究の成果は、学会や医学論文などで発表される予定です。発表の際も、個人が特定される情報は一切使用されません。

○個人情報の取扱い

電子カルテからデータを抽出する際、お名前や患者 ID などの個人を特定できる情報はすべて削除し、匿名化（誰のデータかわからない状態）します。データは、外部からアクセスできない厳重に管理されたパソコンで保管され、個人情報の漏洩が起きないように徹底した対策を行います。

○研究の資金源、利益相反について

本研究に特別な研究資金はありません。また、研究の結果に影響を与えるような利害関係（利益相反）もありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 精神科 医師 橋本 聡

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 精神科 医師 橋本 聡

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター

部署：精神科

担当者：橋本 聡

電話番号：096-353-6501（代表）